

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名 事業所名	社会福祉法人 松涛会 小規模多機能 杜の宮	代表者 管理者	斎藤 妙子 中堀 詔子	法人・事業所の特徴	利用者一人ひとりの人権を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、通いのサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。					
出席者	市町村職員 1人	知見を有するもの 人	地域住民・地団体 3人	利用者 人	利用者家族 1人	地域包括支援センター 1人	近隣事業所 人	事業所職員 1人	その他 人	合計 7人
<b>項目</b> 前回の改善計画 前回の改善計画に対する取組み・結果 意見 今回の改善計画										
A. 事業所自己評価の確認	・申し送り簿を見て当日の状況や状態が分かったら閲覧印を押す。 ・介護記録や伝達簿へ記入する際は、状況や状態が分かりにくい場面が見受けられるので、専門用語や略語を避け5W1H（誰が・いつ・どこで・何を・何故・どのように）を活用して記入する。	・伝達簿や申し送り簿を見て当日の状態を把握して回覧印を押すことはできている。 ・介護記録や伝達簿の内容がまだ解りにくい場面があるので、勉強会などに取り入れて統一できるようにしていく。	・情報を文章化するのは習慣と慣れしかないとと思う。 ・自分で解っていてもそれを文章で人に伝えることは難しいと思うが、他者が解るようにしていって欲しい。 ・文章化や苦手な人でもできるチェックシートを取り入れていくのは？ ・職員に対する知識の向上に努めてほしい。	・介護記録や伝達簿の内容がまだ解りにくい場面があるので、勉強会などに取り入れて統一できるようにしていく。 ・業務改善をこまめにしていく、簡素化できるところがあれば検討していく。 ・新人職員への指導も含め職員の質の向上に努める。						
B. 事業所のしつらえ・環境	・差し障りのないパンフレットを自治会の回覧に入れさせて頂く。 ・安岡自治会の一日喫茶で事業所紹介をする機会を頂く。(10分程度) ・事業所のホームページを毎月1回は更新する。 行事や日常の取り組みを見て、見学や申し込みの材料になるようにする。	・パンフレットを自治会の回覧に入れさせてもらう予定だったが、回覧する際の締め切り等に間に合わないことが多く回覧することができなかつた。 ・今年度はコロナ禍により行事をする機会が少なかつたこともあり、事業所のホームページ更新を毎月1回行うことができなかつた。	・施設内の出来事は杜の宮通信で情報発信されている。コロナ禍で自治会の会議も少なく難しかつたと思う。 ・回覧板が難しかつたら自治会の掲示板を利用したらどうか？ ・事業所のホームページや回覧板のチラシ等、毎回、何がどう変わっているか楽しみな面もあると思う。	・回覧板や事業所のホームページ更新など毎月は難しいかもしれないが、プライバシーへの配慮もしつつできる範囲でこまめに実施していく。 ・コロナ禍による行動制限にあっても快適な日常が過ごせるよう、庭を含め環境整備を行う。						
C. 事業所と地域のかかわり	・差し障りのないパンフレットを自治会の回覧に入れさせて頂く。 ・安岡自治会の一日喫茶で事業所紹介をする機会を頂く。(10分程度) ・事業所のホームページを毎月1回は更新する。 行事や日常の取り組みを見て、見学や申し込みの材料になるようにする。	・パンフレットを自治会の回覧に入れさせてもらう予定だったが、回覧する際の締め切り等に間に合わないことが多く回覧することができなかつた。 ・今年度はコロナ禍により行事をする機会が少なかつたこともあり、事業所のホームページ更新を毎月1回行うことができなかつた。	・施設内の出来事は杜の宮通信で情報発信されている。コロナ禍で自治会の会議も少なく難しかつたと思う。 ・回覧板が難しかつたら自治会の掲示板を利用したらどうか？ ・事業所のホームページや回覧板のチラシ等、毎回、何がどう変わっているか楽しみな面もあると思う。	・回覧板や事業所のホームページ更新など毎月は難しいかもしれないが、プライバシーへの配慮もしつつできる範囲でこまめに実施していく。 ・コロナウイルス感染が落ち着き、自治会の行事等が始まれば積極的に行事参加をしていきたい。また、地域の子供たちとの交流も再開していきたい。						
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・独居や家族が本人の近隣に居ない方で電話が出来る方には1ヶ月の内に少なくとも1回、本人と家族で話す時間を作れる。 ・登録者全員の家族に職員から手紙と事業所での日常を撮影した写真を送る。	・遠方の方からのお便りや電話などがあれば話ができるように対応をしている。 ・登録者全員の家族に職員からの手紙を書くことはできないが、杜の宮通信や誕生日会の写真を送り事業所での日常がわかるようにしている。	・施設内の出来事は杜の宮通信で情報発信されている。 ・コロナ禍で訪問や面会も規制され大変だったと思う。	・特に家族などが遠方の方達には、杜の宮通信を通じてイベントや日常的なことが解るよう情報を発信していく。 ・毎月、ケアマネから、日常的な状態確認などをこまめに報告をしていく。 ・コロナ禍の状態が落ち着けば外出行事も増やしていきたい。						
E. 運営推進会議を活かした取組み	・当日出勤しない職員にも状況が伝わるように伝達簿へ詳しく記入する。 ・事業所内研修で「介護記録の書き方について」学ぶ。 ・外部研修に積極的に参加する。	・運営推進会議で出された意見を議事録にまとめて職員全員に状況がわかるようにしている。 ・4月より介護記録用紙を変更したため記入の統一ができるない所があるため、勉強会に取り入れていく。 ・外部研修に「施設リスクマネジメント研修」に参加することができた。	・運営推進会議も中止が多くお互いに充分な情報交換ができなかつた。 ・勉強会や研修会はローテーションを組んで協力参加したら良いと思う。 ・質の向上的為、職員負担が増えている様に思われる為、職員のストレス面も改善計画に盛り込めば良いと思う。	・運営推進会議で出された意見などは職員全員で話し合い、意見を反映していきたい。 ・外部研修へ積極的参加できるようにしていく。 ・職員のストレス面にも配慮し意見交換がしやすい環境作りに務めていく。						
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の避難訓練に地域住民に参加して頂く。事業所は地域の防災訓練に参加し相互で協働体制が図れるように努める。	・避難訓練には自治会長、民生委員の方に参加をしていただき意見をもらうことができた。 ・今年度はコロナ禍のため地域の行事に参加することができなかつた。	・避難訓練や災害訓練については、引き続き実施すべき。	・避難訓練には引き続き近隣の方や自治会の方への参加をお願いしていく。 ・災害時などの相互の協力体制が構築できるようにしていく。状況に応じては杜の宮が地域の避難場所にもなりうる自覚をが持てるようにしていく。						